

とちぎ

# 県民だより

# 10

月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2159 FAX 028-623-2160



黒磯市寺子橋（上）那須町豊原橋周辺（右）をご視察になる両陛下

九月十四日、天皇皇后両陛下が、昨年八月末の豪雨災害の復興状況をご視察のため本県を訪問されました。  
両陛下は、黒磯市と那須町で河川の改修や農地の被災状況をご視察になり、復興の尽力者や被災された方々に、親しくねぎらいと励ましのお言葉をかけられました。



## 天皇皇后両陛下が被災地をご視察

● 八月末豪雨災害から一年、復興状況をご視察。復興尽力者や被災者にねぎらい、励ましのお言葉。

○ 黒磯市と那須町をご訪問



両陛下ご訪問箇所



● 黒磯市役所にご到着の両陛下

天皇皇后両陛下は、昨年八月末豪雨災害の復興状況ご視察のため、九月十四日、黒磯市と那須町を訪問されました。  
両陛下は午前十時四十分、歓迎の日の丸の小旗に迎えられて、黒磯市役所に到着されました。  
市役所では、渡辺文雄知事から県全体の復興への取組について、藤田政壽黒磯市長から市内の被害とその復興状況について詳しい説明を受けられました。  
また、災害時に活躍した消防団員や復興の尽力者など十名の方々に対して、苦勞をねぎらうお言葉をかけられました。



● 那須町の復興尽力者の方々

黒磯市役所に後にされた両陛下は、同市寺子の寺子橋（余笹川）をご視察になりました。  
両陛下は柿沼隆県土木部長の説明を受けながら、被災の箇所や工事の状況をご覧になりました。両陛下は、氾濫時の余笹川の最高水位をお確かめになると、「あそこまで水があがったのですか」と大変驚かれた様子でした。  
午後、那須町役場に到着された両陛下は、藤田傑那須町長から町



● 黒磯市の復興尽力者の方々



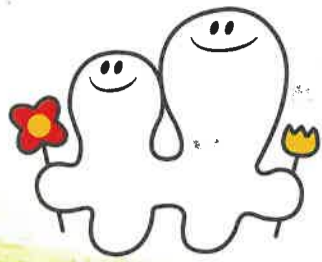
● 那須町黒川で、被災者に励ましのお言葉

内での被害と復興の状況について説明を受けられました。  
また両陛下は、地元の復興尽力者の代表十名の方々にも当時の状況をお尋ねになり、一人ひとりに対して励ましやねぎらいのお言葉をかけられました。  
那須町では、JR豊原駅や同町豊原甲の豊原橋周辺（黒川）をご視察になり、土砂に埋まり耕作できなくなった農地や復旧の状況について、藤田那須町長から説明を受けられました。  
視察の後、両陛下は、水原・成沢地区の被災者代表の九名の方々をおねざらいになり、「大変でしたね、これからも頑張ってください」など、親しく励ましのお言葉をかけられました。  
県では、被災地の一日も早い復興に全力を尽くすとともに、災害に強い県土づくりを目指し、一層の努力を重ねていくこととしていきます。

# つなぐ緑 つくる緑 こころの緑



●「子どもと花とまちづくり」をテーマにしたみぶ会場



マスコットキャラクター  
ばなばな

私たちの生活にやすらぎと潤いを与えてくれる花と緑。これらの大切さ、素晴らしさを楽しみながら体感できる国内最大規模の花と緑の祭典が、来年9月9日から11月5日までの58日間、いよいよ栃木県で開催されます。

第17回全国都市緑化とちぎフェア 開催まであと1年

# 届けたい花いっぱいのもつメッセー



●うつのみや会場にできる「ばなばなの森」

この都市緑化フェアは、「緑ゆたかな街づくり―窓辺に花を、暮らしたに緑を、街に緑を、あしたの緑をいまつくろう―」を全国統一テーマに、昭和五十八年から毎年開催されています。今年度は宮崎県で開催され、百九十九万人もの来場者が訪れました。そしていよいよ、二〇〇〇年という記念すべき年に、栃木県で開催（愛称マロニエとちぎ緑花祭2000）されます。

このフェアは、壬生総合公園（みぶ会場）と宇都宮市総合運動公園（うつのみや会場）の二つの公園で開催されます。

みぶ会場では、「子どもと花とまちづくり」をテーマに、二十一世紀の担い手となる「子ども」に焦点をあてながら、新しい時代にあふさわしい多くの人々の交流する花と緑の街づくりのあり方を提案します。

うつのみや会場では、「森と健やかな暮らし」をテーマに、豊かな平地林を活用し、森の恵みの生

壬生町と宇都宮市の2会場で開催

かし方や、花や緑を生かした新しい暮らしのあり方を提案します。両会場とも、様々な花や緑が会場全体を華やかに飾るとともに、趣向を凝らしたテーマパビリオンが来場者を迎えます。開催まで、残り一年を切り、現在着々と準備が進められています。花と緑の祭典「マロニエとちぎ緑花祭2000」にぜひご期待ください。

## 前売り入場券の発売開始

去る九月六日、宇都宮市の県総合文化センターで「一年前祭」が開催され、記念式典や「残日計」の点灯式が行われました。また、この日から、前売り入場券の発売を開始しました。料金は大人千二百円、高齢者・高校生六百円、小・中学生四百円です。なお、学校行事で参加する子ども達の入場は無料となります。前売入場券には、抽選で海外・国内旅行やホテル宿泊券、お食事券などが当たる応募券がついています。ご購入はお早めに。

## 問合せ

同フェア実行委員会事務局

TEL 028-623-2478



●県庁前での「残日計」の点灯式

安心して西暦二〇〇〇年を迎えるために……  
コンピュータ二〇〇〇年問題の  
対策をすすめています

## 危機管理計画を策定

コンピュータは、私たちの生活全般にわたり広く浸透しており、欠かすことができない存在となっています。

市町村をはじめ関係機関との連絡体制の整備を進めています。特に、問題の発生が予想される年末年始等においては、対策本部事務局員が県庁に待機し、トラブルの発生に速やかに対処できるように備えることとされています。



なお、危機管理計画書（第一版）の概要を県のホームページに掲載していますので、ぜひ、ご覧ください。

http://www.pref.tochigi.jp/

二〇〇〇年問題相談窓口

県情報管理課

TEL 028-623-2220

## 県民の皆さんへ

皆さんの身の回りには、電気製品にもマイクロチップが組み込まれたものが多数あります。現在使用している製品が、二〇〇〇年問題に対応しているかどうか、この機会にぜひご確認ください。不明な場合は、製造メーカーのお客様相談室などにお問い合わせください。

## 連絡体制を整備

県が管理している重要なコンピュータシステムの修正や模擬テストは、九月末までに完了しています。九月末までに完了して影響を及ぼす問題が発生した場合を想定し、復旧対策の検討や

# トピックス

## 雇用対策推進本部を設置

県内の有効求人倍率は〇.六三  
倍（七月現在）と低水準であり、  
一時に比べてやや改善がみられる  
ものの、依然として厳しい状況が  
続いています。

このため県では九月一日、小菅  
充副知事を本部長とする雇用対策  
推進本部を設置しました。商工労  
働観光部に設置されていた推進本  
部を再編拡充し、全庁的な連携の  
もと、よりきめ細かな雇用対策に  
取り組むこととしたものです。



●ハローワーク駅前プラザ（宇都宮）の様子

## 「日本の棚田百選」に 二地区が認定

棚田とは、斜面に作られた水田  
のことで、本県では「谷地田」「沢  
田」とも呼ばれています。棚田は  
食料の生産に加え、災害の防止・  
景観（農村の原風景）の保全や生  
態系の維持などの様々な役割を担  
っています。

棚田は、地形条件が不利なため、  
農作業に要する負担が大きく、農  
村の過疎化や高齢化もあつて現在  
では、耕作放棄地が増加しており、  
災害防止機能の低下などによる下  
流域や周辺の農地への影響が心  
配されています。

このような中で、今年度農林水  
産省が実施した「日本の棚田百選」  
に、本県から茂木町の石畑地区と  
烏山町の国見地区の二地区が認定  
されました。

県では、今後とも棚田地域を保  
全するため、中山間地域の活性化  
や環境保全のための基金を活用す  
るなどして取り組んでいくことに  
しています。

## 問合せ 県土地改良課

TEL 028-623-2360



●烏山町国見地区の棚田

## 権利擁護センター 「あすてらす」オープン

地域での生活を望む高齢者や障  
害者の方々が増加する中で、財産  
管理をめぐるトラブルや、虐待、  
労働上の権利の侵害などの事件が  
各地で起きています。

自己による意思決定が困難な高  
齢者や障害者の方々の日常生活上  
の支援をするため、とちぎ権利擁  
護センター「あすてらす」が十月  
一日、県社会福祉協議会（宇都宮  
市本町）の中にオープンしました。



●「あすてらす」オープニングセレモニー

センターでは、権利侵害や金銭  
管理などに関する相談に応じ、支  
援を必要とする方には、日常的な  
金管理（預金通帳の保管や公共料  
金の支払い等）や、日常生活の支  
援（福祉サービスの利用援助等）  
などを行います。また、介護保険  
制度の申請手続きの援助などのご  
相談にも応じます。

センターの業務は、県社会福祉  
協議会をはじめ、宇都宮・今市・  
真岡・小山・矢板・黒磯・烏山・  
佐野各市町の社会福祉協議会が行  
います。また、その他の市町村の  
社会福祉協議会でも相談を受け付  
けます。

本人以外でも、ご家族や民生委  
員などからの相談もお受けしま  
すので、お気軽にご相談ください。

問合せ 県社会福祉協議会  
TEL 028-621-1234

## 八溝地域の情報発信拠点 道の駅「ばとう」オープン

県内六番目の道の駅として、九  
月二日、馬頭町北向田の国道二九  
三号沿いに道の駅「ばとう」がオ  
ープンしました。

この道の駅「ばとう」は敷地面  
積が七千二百㎡。大型車、身障者  
用を含めて五十八台が駐車できる  
スペースを確保しました。建物は、  
地元八溝材の木材を使用したトイ  
レ、屋外休憩施設、地域振興施設  
「馬頭むらおこしセンター」「馬頭  
町観光センター」の四棟があり、  
和風建築で作られています。

むらおこしセンターには、地元  
素材を使った料理が自慢のレスト  
ランのほか、新鮮な野菜や果物、  
伝統工芸品の小砂焼の直売所もあ  
り、交流の場にもなっています。  
観光センターでは、地域の情報が  
取り出せます。休憩所でアイス工  
房の、地元のゆずなどを使った手  
づくりアイスも味わえます。

また、来年秋には、浮世絵画家  
「歌川広重」の肉筆画等を展示する  
町立美術館も近辺にオープンする  
予定です。清流那珂川と、八溝山  
系の豊かな自然、文化に囲まれた  
新たな観光スポットに、皆さまも  
ぜひお出かけください。

問合せ 県道路建設課  
TEL 028-623-2413



●オープンしたばかりの道の駅「ばとう」

## ふるさと便利

### 芭蕉の里くろはね

芭蕉の館と全国俳句大会

今年開館十周年を迎える「黒  
羽町芭蕉の館」は、芭蕉の里く  
ろはねの中心的施設です。館内  
には芭蕉に関する資料を集めた  
エントランスや展示室に加え、  
黒羽藩主大関家ゆかりの古文書  
等歴史的にも貴重な品々を展示  
しているコーナーがあります。

周辺には、城址公園や芭蕉公  
園、これらをつなぐ「芭蕉の道」  
（約八百m）があり、句にも詠み  
込まれた撫子などを眺めながら、  
芭蕉翁のおもかげをしのぶこと  
ができます。

また、今月二十四日（日）に  
は、第十回全国俳句大会が行わ



れます。自然の中での一句、皆  
さまざまにお出かけください。  
交通 JR那須塩原駅から車で  
20分、町営バス役場下車  
◇入館料 大人三百円 中小人百円  
◇問合せ 芭蕉の館  
TEL 0287-54-4151

## とちぎに国会を!!

### ●那須新首都構想紹介 「那須新首都」ってなんだろう？

今回から、県が描いている那須新首都の  
姿を紹介します。

この構想は、国会等の移転に向けて、那  
須地域がもつ特性と可能性を最大限に生か  
した新首都の姿を、栃木県ならではの提案  
として、県の内外に広くアピールするもの  
です。那須地域の移転の意義や効果、移  
転先としての適地性などについて理解と議  
論を深めていただければと考えています。  
今回は第一回目として、県が提案してい  
る那須新都市づくりの主要テーマについて  
紹介します。

◎「持続」可能性  
「持続」をキーワードに、平和で安全な生活の維持が可能な都市をめざします。

◎環境「共生」  
「共生」をキーワードに、自然環境と共生できる都市をめざします。

◎新たな価値観の「創造」  
「創造」をキーワードに、新しい価値観や社会を創造していける都市をめざします。

◆問合せ 企画調整課 国会等移転対策室 TEL 028-623-2209

**持続**  
Sustainable  
平和 危機管理  
安全 安心  
人と人  
人と土  
地球市民

**共生**  
Symbiotic  
地球環境  
人と自然  
人と人  
都市と農村  
自立と連携

**創造**  
Creative  
文化  
新しい政治行政  
社会システム  
新しい価値観  
ライフスタイル

# マロイ アート ガーデン



## 花 歳 時 記

### コスモス (キク科)

秋桜としてすっかり日本に定着したコスモスは、元々はメキシコの岩と砂の荒野に咲いていた野性的な花。日本には江戸幕末に輸入され、今では品種改良も進んで紅・白・ピンクの他、黄・橙色の花もあります。

#### ウォッチングポイント

高根沢町の鬼怒グリーンパークは、規模も大きく見ごたえあり。10月17日(日)までコスモス祭りを開催。

## カルチャー CULTURE

### 県立博物館

- 企画展「麻-大いなる繊維-」10月24日(日)まで
- テーマ展「博物館の資料はどうやって集めるの?」11月7日(日)まで
- 「野木町清六遺跡」「下野の戊辰戦争」10月30日(土)から
- 観察会「地層を調べてみよう」11月3日(水)
- 観察地 栗野町(現地集合)
- 申込締切 10月23日(土)
- 体験学習「化石をさがそう」11月13日(土)
- 対象 小中学生
- 当日受付※11月3日(文化の日)は無料観覧日です。
- 問合せ ☎028-634-1312

### 県立美術館

- 企画展「サンフランシスコ近代美術展」10月31日(日)~12月5日(日)
- 本展はサンフランシスコ近代美術の充実したコレクションの中から、その最大の特徴をなすカリフォルニア20世紀美術の様々な動向を油彩、立体、写真等112点の作品で展覧。
- 問合せ ☎028-621-3566



### 県総合文化センター

- コンサート・エレガンス'99「ヨセフ・スーク&仲道郁代」10月16日(土)午後6時30分~当日券有
- とちぎ舞台芸術アカデミー◎音楽部門 読売日本交響楽団ワークショップ演奏会 11月23日(火)午後1時~
- 受講生と講師による演奏会◎古典芸能部門 狂言講座~万作の会 2月4日(金)午後6時30分~
- 10月29日(金)発売開始
- 問合せ ☎028-643-1010



狂言「蚊相撲」

### 県子ども総合科学館

- チャレンジ・トゥ・ザ・リミット◎中学生部門 11月7日(日)
- ピンポン玉を多く入れる対戦型競技◎高校生部門 11月14日(日)
- 乾電池で動く車両で速さと距離を競う省エネレース
- 出場事前申込み、観戦無料
- 児童館フェア「わいわい遊びの屋台村」11月13日(土)~14日(日)
- 県内の児童館が大集合。簡単にできるゲームや工作などがいっぱい。
- 問合せ ☎028-659-5555



児童館フェア

## 県政



### 催 し

- 流域下水道フェスティバル
  - ◎思川浄化センター(野木町野木清六2252-2 ☎0280-57-0555) 10月17日(日) 施設公開、ポスター展他
  - ◎泉浄化センター(上三川町多功1159 ☎0285-53-6104) 10月23日(土) 施設公開、ミニSL乗車他
  - ◎巴波川浄化センター(栃木市城内町2-57-62 ☎0282-22-5322) 10月29日(金) 施設公開、さつまいもほり他
  - ◎北那須浄化センター(大田原市宇田川1790-1 ☎0287-28-2277) 10月31日(日) 施設公開、ポスター展他
- 栃木県花と緑と公園のつどい
  - 10月20日(水) 県総合文化センター(宇都宮市) 内容 記念講演「自然から学ぶもの~人間動物大きな輪」/西山登志雄氏(東武動物公園園長)、苗木配布会(先着400名) 問合せ 県都市施設課 ☎028-623-2473
- 栃木県産産教育フェア
  - 10月22日(金)、23日(土)午前10時~ 県教育会館、県青年会館コンサレー(宇都宮市) 内容 専門学科に学ぶ高校生の研究発表、ファッションショー、農産物等の即売他 問合せ 県高校教育課 ☎028-623-3380

- 酪農試験場公開デー
  - 10月27日(水)午前10時~ 県酪農試験場(西那須野町) 試験研究成果の展示、搾乳体験、「楽農」クイズ(商品多数)他 問合せ 同試験場 ☎0287-36-0280
- とちぎインターナショナル フェスティバル'99
  - 日程、内容 ①10月30日(土)、ホームステイ入門講座、きもの教室「民族衣装きものとは」他※要申込み ②10月31日(日)、各国の歌と踊り、各国の民芸品、料理等の販売 ●とちぎ国際交流センター(宇都宮市) 問合せ 県国際交流協会 ☎028-621-0777
- 緑の相談所の催し
  - ◎中央公園(☎028-636-7621) 講座「松の整枝・剪定」10月24日(日)午前10時~ 定員 50名
  - ◎井頭公園(☎0285-82-4475) 講座「豊かな暮らしの花づくり(ハンギングバスケット)」10月23日(土)午前10時~ 定員 35名
  - ◎那須野が原公園(☎0287-36-1220) 錦蘭展 10月22日(金)~24日(日)
  - ◎みかも山公園(☎0282-55-7733) 講座「万葉集に見る三義山」10月24日(日)午前10時~ 定員 40名
- パルティの講座
  - ◎生活充実講座「ヨーロッパポーセリンとお菓子の手作りクリスマス」11月6日(土)、27日(土)午後1時~(全2回) 受講料 4,000円 申込み 10月22日(金)までに往復はがきで ◎パソコン(女性対象・初級) 11月16日(火)~12月16日(木)までの毎週火~金の18日

### 講 座

- 消費者交流研修会
  - 11月30日(火)午前10時~ 氏家町公民館ホール テーマ 高齢社会のライフスタイルを考える 申込み 10月29日(金)までに各市町村消費行政担当課へ 問合せ 県消費生活センター ☎028-665-7733
- 栃木県体育館スポーツ教室
  - ◎一般水泳教室 12月~平成12年2月の木曜日、午前10時~(全10回) 定員 一般県民30名 受講料 4,200円
  - ◎小学生水泳教室 12月~平成12年2月の水曜日、午後3時45分~(全10回) 定員 小学1,2年生35名 受講料 2,100円 ※募集期間いずれも11月1日(月)~10日(水)※受付方法等詳しいことは同体育館(☎028-622-4201)までお問い合わせください。
- 青年海外協力隊
  - ◎応募資格 満20歳~満39歳までの日本国籍を持つ方 受付 10月15日(金)~11月20日(土) 職種 農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、スポーツ 派遣期間 原則2年間 問合せ 県国際交流課 ☎028-623-2161又は(財)県国際交流協会 ☎028-621-0777
- 県環境保全資金融資制度
  - ◎対象 県内で1年以上事業活動を営んでいる中小企業者等 内容 ①公害防止施設等の設置・改善に要する資金②公害防止のための工場

### 募 集

- 県立がんセンターレジデント募集
  - 資格 2年以上の臨床経験をもつ医師 研修期間 平成12年6月から3年間 採用人員 若干名 受付 平成12年1月14日(金)まで 問合せ 同センター ☎028-658-5316
- 「なかがわ水遊園(仮称)」のマスコットキャラクター、キャッチフレーズの募集
  - 平成13年度中オープン予定の「なかがわ水遊園(仮称)」の持つイメージにふさわしく、幅広い世代から親しみをもたれるマスコットキャラクター、キャッチフレーズを募集 締切 11月30日(火) 応募方法、応募資格等詳しいことは、県なかがわ水遊園整備室(☎028-623-2578)までお問い合わせください。
- 県立衛生福祉大学校入学試験
  - ◎募集学科・人員 ①保健学科30名 ②看護学科本科86名 ③看護学科専科(昼、夜)90名 ④歯科衛生学科30名 ⑤歯科技工学科15名 ⑥臨床検査学科20名 ⑦保育学科50名 願書受付 ①②⑥⑦は12月2日(木)~8日(水)、③④⑤は12月15日(水)~21日(火) 試験日等詳しいことは同校学生課(☎028-658-8521)までお問い合わせください。
- 県立南高等看護専門学校入学試験
  - ◎試験日 [筆記] 平成12年1月25日(火)、(面接) 平成12年1月25日(火)~26日(水) 願書受付 12月15日(水)~21日(火) 問合せ 同学院 ☎0282-27-7888

### 試 験

## しせつ

### かもしか荘

- 塩原で、大きな大きな深呼吸
  - 四季折々の風情が楽しめる塩原温泉。その塩原が、一年中で最も色鮮やかな顔を見せるのがこれからの季節、秋です。「塩原十名瀑」と呼ばれ、白いしぶきを上げて流れ落ちる滝の数々と、赤や黄色に色づく木々が織りなす景観は、まるで一幅の日本画を見るような美しさ。渓谷沿いに歩いてみれば、そこには目を見張るばかりの雄大な自然が息づいています。そして何といても最大の魅力は温泉。町内には11の温泉が点在し、それぞれに違った泉質や色が楽しめます。そんな塩原で、忙しい日常を忘れて体も心もゆったりとリフレッシュしてみませんか。



豊富な湯量が自慢の広々としたお風呂

- かもしか荘は、勤労者とその家族のために建てられた公共の宿です。塩原観光のベースとして、また、お仕事や研修にもご利用ください。
- 所在地 那須郡塩原町下塩原1256
- 交通 那須塩原駅又は西那須野駅からJRバス「塩原温泉行き」、塩釜温泉下車。自動車では西那須野塩原インターから約20分。
- 利用料 一泊二食付き8,692円~(税・サ込)
- 問合せ ☎0287-32-2525

## 番組

### 栃木県提供の番組

#### 【とちぎテレビ】

- 番組名 「委員会からこんにちは」
  - 放送日 10月30日(土) 午前10時30分~11時
  - 国会等移転審議会の答申を間近に控え、那須地域への移転に向けた活動も大詰めを迎えた「国会等移転対策特別委員会」を中心に、特別委員会、検討会の活動の模様をご紹介します。
  - ◎問合せ 県議会事務局調査課 ☎028-623-3772
- 番組名 「県議会質問ダイジェスト」
  - 9月定例会の本会議で質問に立った議員と知事をはじめとする執行部の論戦の模様を中心に、議決された議案の紹介なども交えてお送りします。
  - ◎放送日程
    - 10月16日(土)午前10時30分~12時 ①広瀬 寿雄 ②佐藤 信 ③小高 猛男 ④佐々木重信 ⑤吉成 昭運 ⑥石坂 真一
    - 10月17日(日)午前10時30分~11時45分 ①青木 務 ②高岡 真琴 ③渡辺 直治 ④神谷 幸伸 ⑤荒井 光夫

- 特別番組 「栃木県少年の主張発表県大会」
  - 放送日 10月23日(土) 午前10時30分~11時
  - ◎問合せ 県広報課 ☎028-623-2190



定例会 本会議